

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-2-3		事業名	ものづくり産業活性化支援事業
担当	経済局産業振興部ものづくり支援担当課 神田 TEL211-2362			
全体計画				
事業内容	市内ものづくり産業(製造業)の競争力及び成長性を高め、本市経済の活性化に寄与することを目的として、市内中小製造業者又は企業グループ、組合等に対して、以下の経費を補助する(補助率2分の1)。 「新製品開発・既製品改良に関する事業」 新製品・新技術の研究開発又は既製品の改良による高付加価値化に要する経費 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 他の企業、研究機関及び支援機関等との新たなネットワークの構築又は既存のネットワークの推進を図るための、研修・講習会、研究会の開催、展示会への共同出展等に要する経費 「人材育成・確保に関する事業」 人材の育成及び確保を図るための、先進的企業等への従業員派遣、外部専門家等による社内研修の開催又は先進的企業等に従事経験のある技術者の新規雇用に要する経費		<年度別の事業内容>	
			19年度... 「新製品開発・既製品改良に関する事業」4件、 「ネットワーク構築・推進に関する事業」2件、「人材育成・確保に関する事業」2件の計8件の補助を計画。 20年度...19年度からの新規事業であるが、企業等からの申請・問い合わせが予想以上であったため、製造業支援の重要性も考慮して予算を増額し、補助件数を ~ の事業につき各1件程度ずつ増加して実施予定。 21、22年度...20年度と同様の内容で実施予定。	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	「新製品開発・既製品改良に関する事業」 7件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて6件(「チップ自動整列機の開発」、「雪氷利用輸送システムの開発」、「PP(ポリプロピレン)製パッケージの開発」、「粗製グリセリンを主燃料とする温水ボイラーの開発」、「ユニバーサルソファの開発」、「フェリー乗船中でもデータ通信が可能な保冷車の輸送品質管理システム」)の事業を採択し、実施した。 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 2件の事業を実施した。 「人材育成・確保に関する事業」 2件の事業を実施した。		「新製品開発・既製品改良に関する事業」 14件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて7件(「タッチパネル式コンピュータのプラットフォーム開発」、「パルスレーザーを用いたSiC(シリコンカーバイド)基盤用レーザースクライプ技術の開発」、「電気式人工喉頭の多機能化技術開発」、「発泡スチロール箱専用シールはがし機の開発」、「シンプルな文字表示と応答機能を有するネットワーク端末装置の開発」、「高齢者・障がい者の為の車いす移乗補助装置の開発」、「ホテル・旅館の客室向け空気清浄装置『すいえんくん』の改良開発」)の事業を採択し、実施した。 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 3件の事業を実施した。 「人材育成・確保に関する事業」 1件の事業を実施した。	
事業内容	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	企業等からの申請・問い合わせがさらに増加したため、予算を増額し、 ~ の事業について当初計画より3件増加して実施する。 「新製品開発・既製品改良に関する事業」 7件の事業を実施予定。 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 3件の事業を実施予定。 「人材育成・確保に関する事業」 3件の事業を実施予定。			
規模				
件数				
等				

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-2-3			事業名	ものづくり産業活性化支援事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
「新製品開発・既製品改良」補助件数(累計)	-	6件	13件	20件	27件	16件	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
<p>市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>企業等との連携・協働            [資金協力]本事業の補助により、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。            [人材協力]外部審査会において、事業の改善点等についての助言も実施している。            [情報協力]事業の公募や採択結果について、ホームページでの周知のほか、各種会合での説明を行い、情報の共有に努めている。            [その他の協力](該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり            既製品の改良や企業間ネットワークの構築段階での取り組み、社内研修の開催についても補助対象とすることで、企業が利用しやすい事業となっている。事業の募集に当たっては、各種団体のホームページやメールマガジン等も活用し、広く企業に周知している。</p>							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
<p>本事業により、新たな事業にチャレンジする市内製造業者に対する支援を行うことで、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。</p> <p>「新製品開発・既製品改良に関する事業」では、当初の目標件数の4件/年に対して、平成19年度は6件、20年度は7件とそれぞれ目標を上回る件数を実施することができ、本市の経済活性化に重要な役割を持つ製造業の競争力強化と成長性向上に寄与した。</p>				<p>市内製造業者の新たな事業へのチャレンジを促進し、市内経済を活性化させるため、事業の募集及び実施事業の成果について、より効果的なPRが必要である。</p> <p>また、市内製造業者においては、営業力・販売力の強化が課題となっており、事業成果がビジネスとして成功するまでの体系的な支援が必要である。</p>			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
<p>企業等からの申請・問い合わせが予想以上にあり、製造業支援の重要性を考慮して、平成21年度は採択件数を増加して実施。平成22年度も同規模で実施する見込みであるが、過去の採択企業の事業化後のフォローアップとして販路開拓等に要する経費を補助する等、より効果の高い事業となるよう企業ニーズ等を反映し、事業内容の拡充を検討していく。</p>							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-2-3		事業名		ものづくり産業活性化支援事業					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費		10,500		11,000		10,500		11,000		43,000
	財源内訳	国・道	0		0		0		0		0
		市債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	10,500		11,000		10,500		11,000		43,000
予算	事業費		10,500		13,500		17,850		-		41,850
	財源内訳	国・道	0		0		0		0		0
		市債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	10,500		13,500		17,850		-		41,850
実績	事業費		8,177		12,446		-		-		20,623
	財源内訳	国・道	0		0		0		0		0
		市債	0		0		0		0		0
		その他	0		0		0		0		0
		一般財源	8,177		12,446		-		-		20,623
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)									89.5%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
(全体)											
[19年度]補助事業の実施段階で経費節減に努め当初予算に満たなかった事業もあり、決算額が予算額を下回った。											
[20年度]申請・問い合わせの件数と製造業支援の重要性を考慮し、当初計画よりも規模を拡大して事業を実施した。											
[21年度]申請・問い合わせの件数と製造業支援の重要性を考慮し、20年度よりもさらに規模を拡大して事業を実施する。											